

高浜町役場 高浜公民館
Takahama Town Hall / Takahama Public Hall





福井県 高浜町

- ・ 人口約 1 万人の町
- ・ 若狭湾に面する「海辺のまち」
- ・ 若狭富士と呼ばれる「青葉山」



アジアで初めて「BLUE FLAG」を獲得した美しい海と砂浜



BLUE FLAG
TAKAHAMA

ブルーフラッグは1985年フランス発祥で、FEE（国際環境教育基金）が運用するプログラムです。世界で最も歴史のある環境認証のひとつで、ビーチやマリーナが対象です。認定されるためには、1. 水質、2. 環境マネジメント、3. 安全性・サービス、4. 環境教育と情報の4分野33項目の認証基準を全て満足し、毎年審査に合格する必要があります。



旧丹後街道沿いに残る町家と高浜七年祭



かつて都に海産物を供給していた旧丹後街道沿いに残る町家群には、瓦屋根や袖うだつ、むくりなどの意匠が見られます。またこの通りでは、7年に1度行われる福井県指定無形民俗文化財で450年以上の歴史ある「高浜七年祭」も行われ、歴史を感じられる場所となっています。



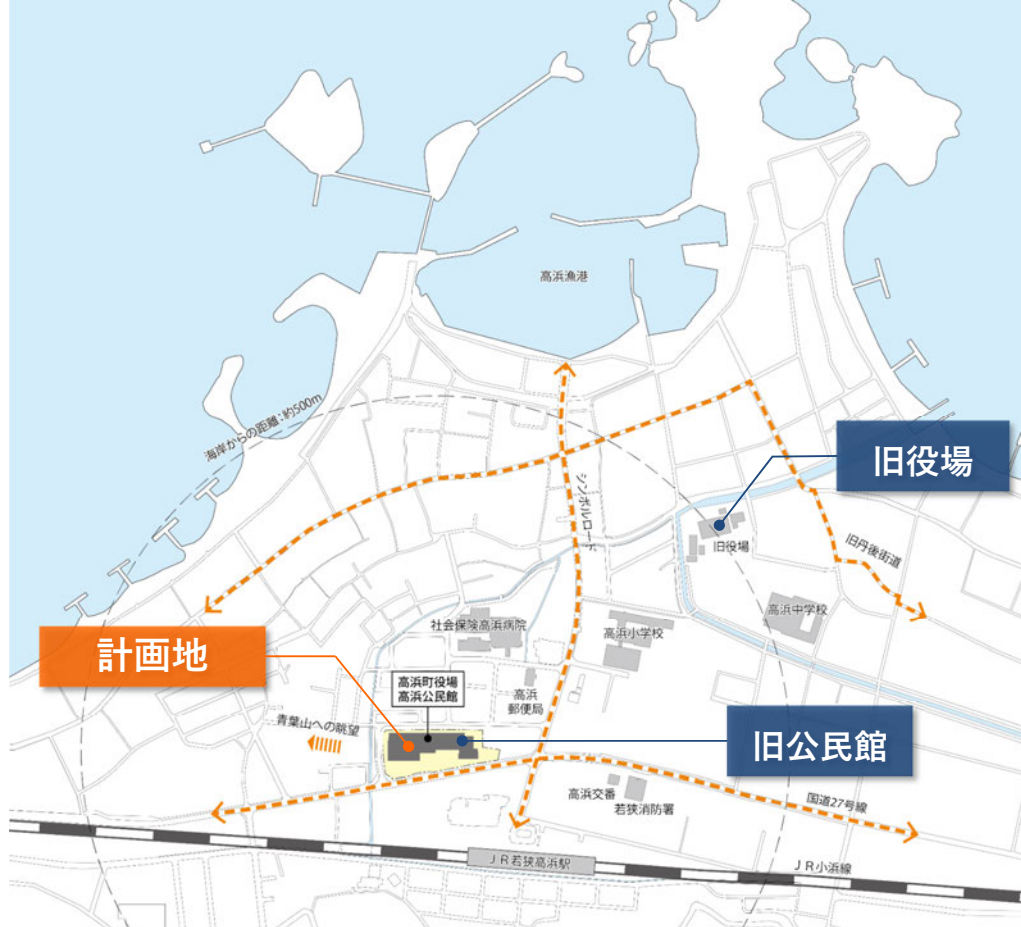
高浜七年祭には、基本設計中に設計者も参加させて頂きました

新庁舎・公民館を一体的に整備

- ・旧役場と旧公民館の老朽化
- ・公共施設を集約した
コンパクトなまちづくり

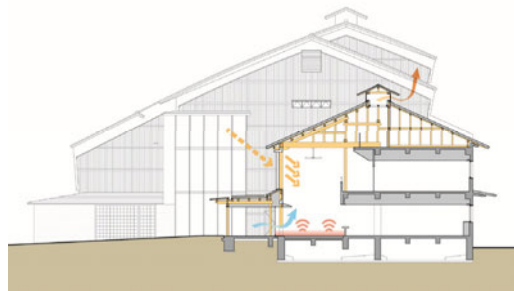
企画当初から掲げる4つの基本理念

1. 町民に開かれた庁舎・公民館
2. 地域の防災センターとしての機能を持った庁舎・公民館
3. 環境と人にやさしい庁舎・公民館
4. 気持ちよく安心して利用できる庁舎・公民館



設計において特に配慮した事項

1. まちの風景に溶け込む、高浜町らしい佇まいとする
2. 町民が気軽に立ち寄れるコミュニケーションの場をつくる
3. 在来軸組構法の木造とすることで、地元の職人参画を促す
4. 古来からの環境配慮手法を現代の技術で補完する



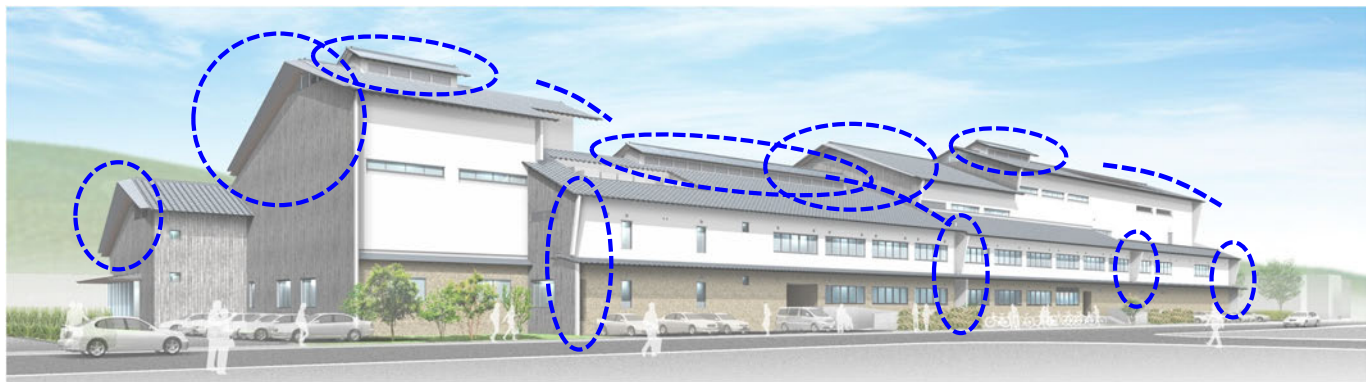


■煙出し櫓 → 吹抜け空間の自然換気

■蓑甲（みのこう）→ 妻壁の汚れ防止

■袖うだつ → 防火区画の袖壁

■起り（むくり）→ 町家らしい大屋根

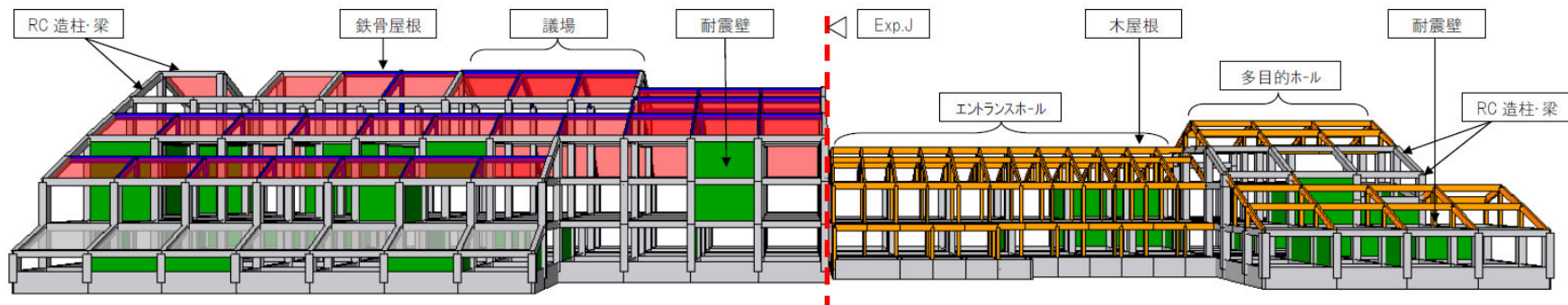


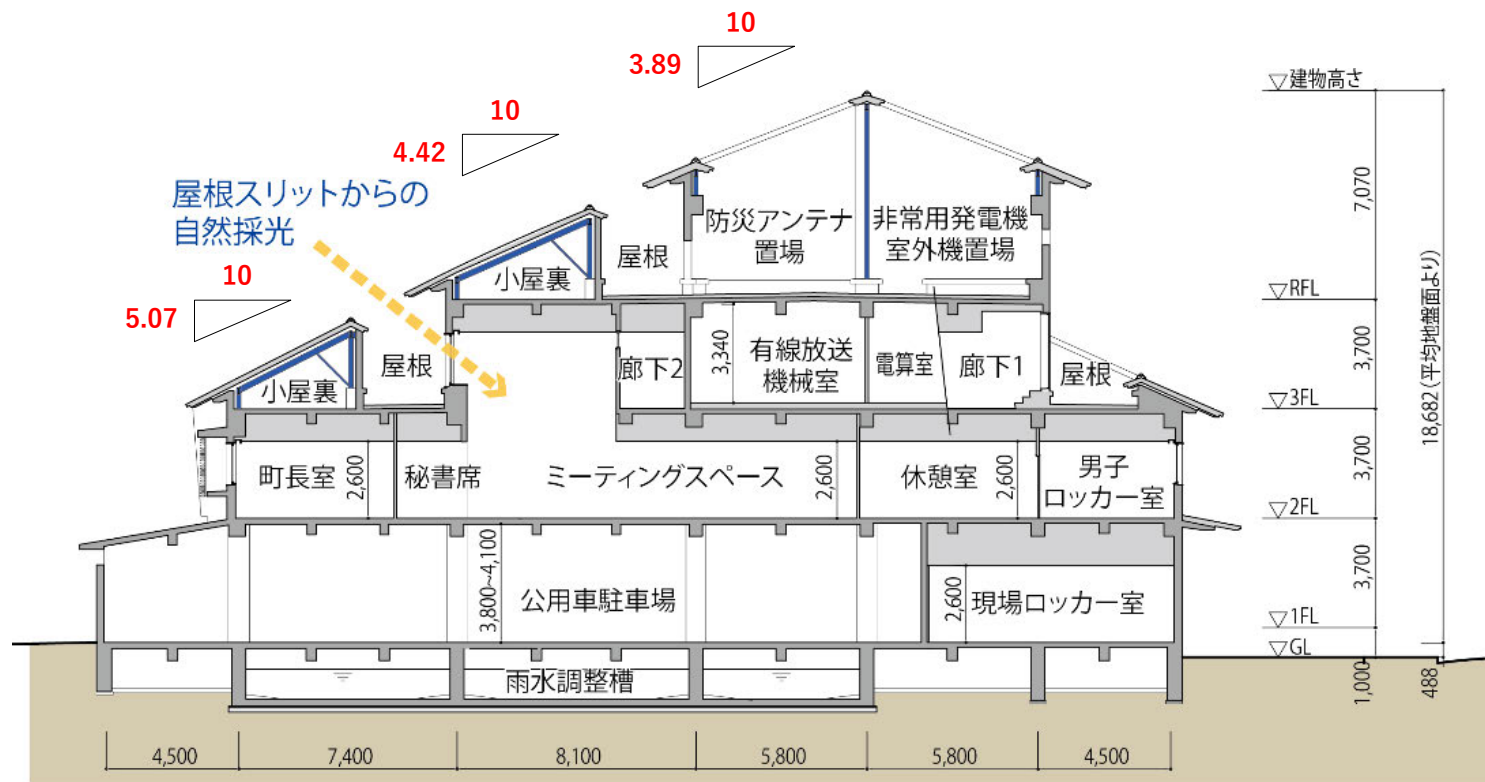


庁舎棟
RC造 + 鉄骨造

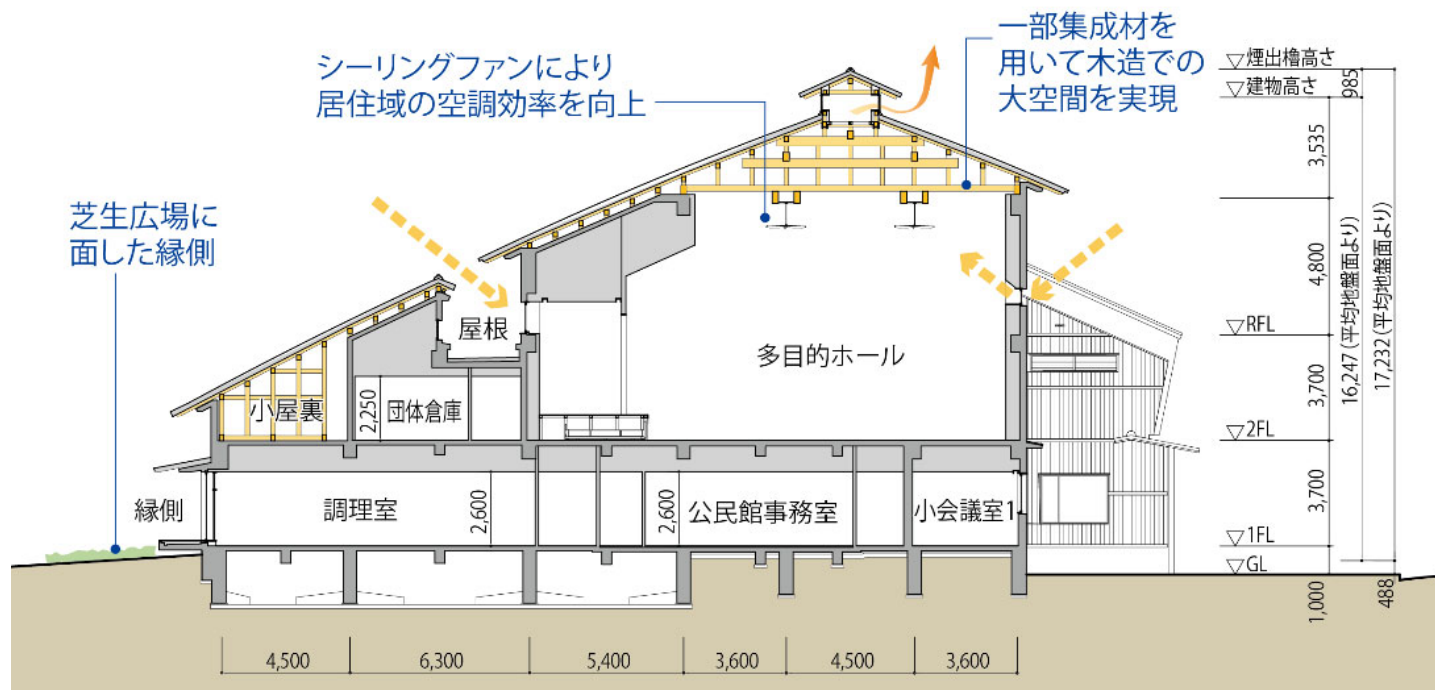


公民館棟
RC造 + 木造





庁舎棟の屋根は鉄骨造：複数の勾配による折れ点形式の「むくり屋根」

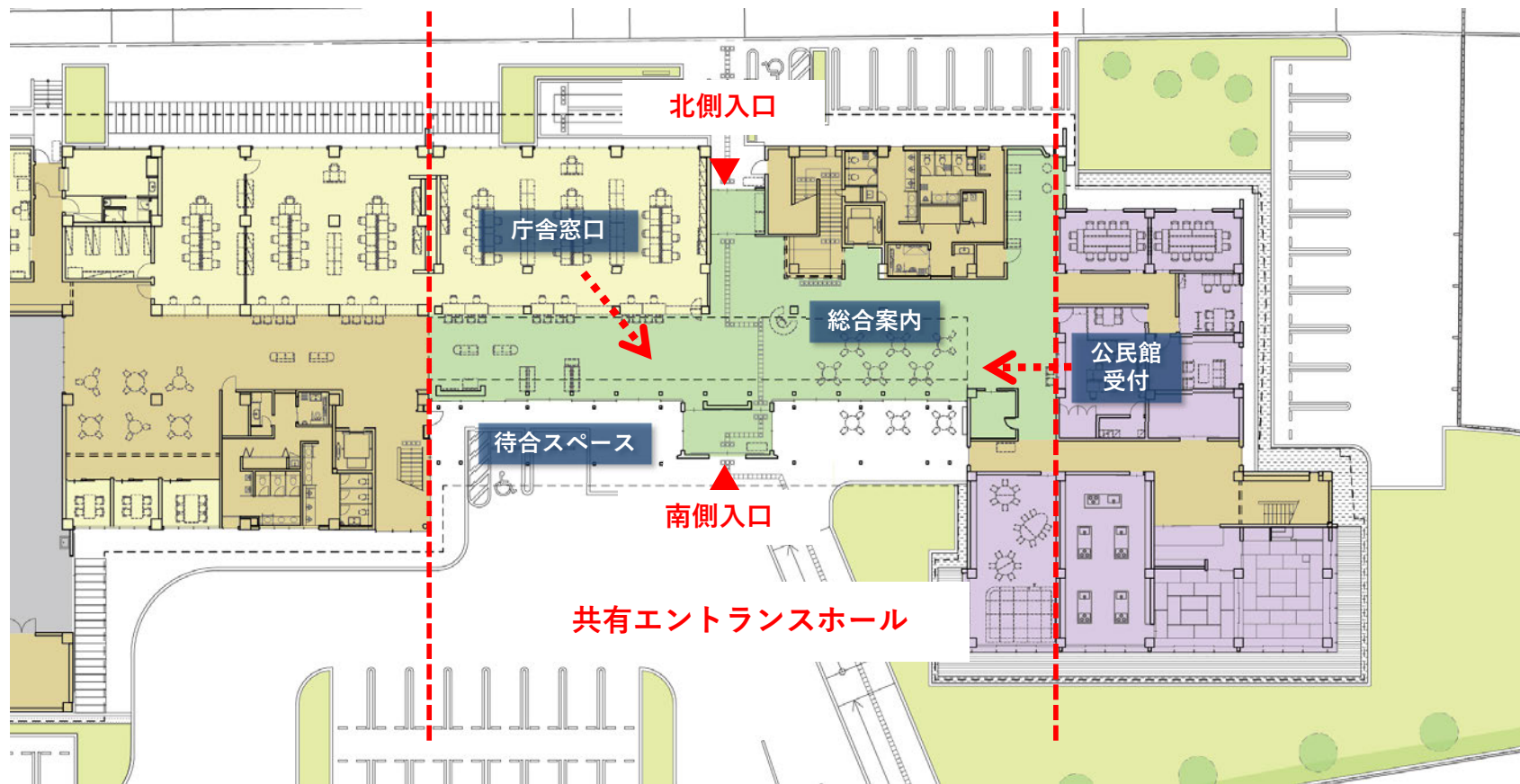


公民館棟の屋根は木造：下地調整による曲線状の「むくり屋根」



地元大工さんのアドバイスや
施工者との協働により、木造の
「正しい」むくり屋根を実現





■公民館棟 1F plan

「海の家」＝「浜茶屋」



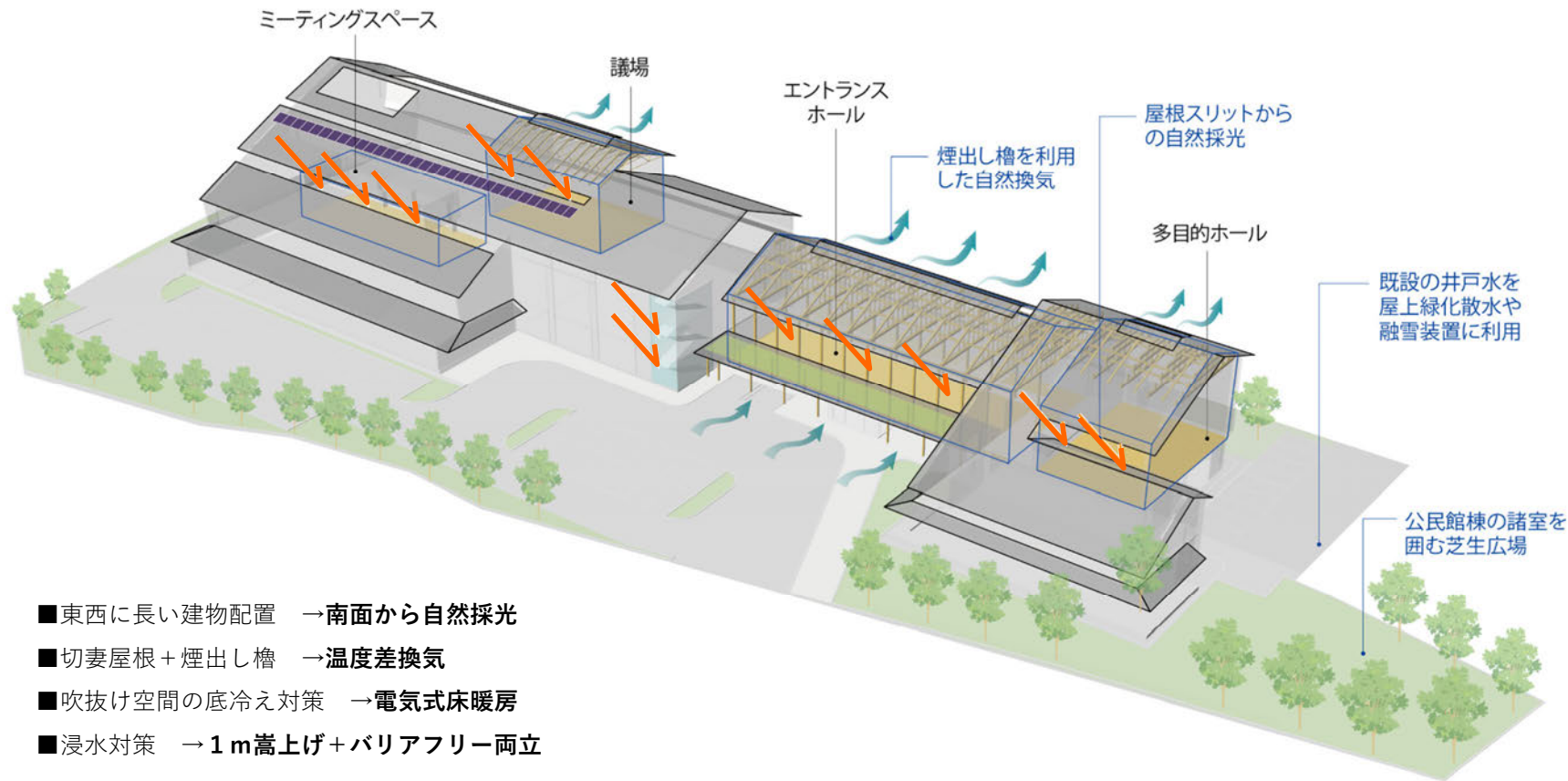








当時の建設整備課にご尽力を頂き、
地元の木材業者に木材を先行発注



施工についての配慮事項









勾配スラブのコンクリート打設

実際に使われている様子





「各家庭に色とりどりの山野草をさつきを届けたい」という思いから設立されたさつき同好会。

会長の福谷さんから活動内容などをお聞きしました。

5月3日(水)～6日(土)

高浜さつき同好会

『春の山野草と小品盆栽展』

暖かく好天に恵まれたGWは高浜さつき同好会による『春の山野草と小品盆栽展』が高浜公民館のエントランスホールで行われ、県内外から300人以上の方が来館され観賞されました。





高浜公民館 夏休み子ども教室

今年の『夏休み子ども教室』は5種類の講座を行いました。都合が悪く中止になってしまったものがありましたが、今年もたくさん子どもたちが公民館に来てくれました。

8/2(水) 書写宿題をお手伝い



8/3(木)・4(金) 夏休み勉強部屋



○期間中は会議室を貸し切った『夏休み勉強部屋』

○石田さん(岩神区)と居関さん(小浜市)から夏休みの課題に取り組む『書写宿題をお手伝い』

STREET DANCE WORKSHOP を実施しました！



福井県大学ダンス連盟Nuuke(福井大学等の学生が所属するダンスチーム)が本町での夏合宿に合わせ、8月9日(金)に町内の小中学生との交流を行いました。今年は文化会館と高浜公民館の2ヶ所でインストラクターからヒップホップ等のダンスを楽しく教わりました♪♪





夜は行灯のように街を照らす

■工事概要

□所在地	福井県大飯郡高浜町宮崎 86-23-2
□敷地面積	8,688 m ²
□建築面積	3,665 m ²
□延べ面積	7,415 m ²
□構造／階数	庁舎棟：RC・一部 S 造、公民館棟：RC・一部W造（耐震構造） ／庁舎棟：地上 3・塔屋 1、公民館棟：地上 2
□事業者	高浜町
□施設管理者	高浜町
□設計者	日本設計・未来プランニング設計共同体 （(株)日本設計、(株)未来プランニング）
□施工者	(株)熊谷組 北陸支店
□竣工年月	2016年 9月
□総工事費	3,499百万円（原子力防災設備工事：35百万円、太陽光発電設備工事：50百万円除く）

■エピソード（高浜町より）

高浜町民一人ひとりが主役になる「暮らしたい、働きたい、訪れたいまち」に相応しい施設とするため、様々な方面の意見をワークショップにてとりまとめ、計画に反映しました。コンパクトシティ構想のもと庁舎と公民館をアクセスの良い立地に集約建替えたことが最大の特徴ですが、実際に施設を訪問される方は、役場と公民館をつなぐエントランスで交流を深めておられます。

また、敷地は津波浸水区域に該当することから、主要な防災施設・情報機器は浸水の影響がない3階へ配置しました。さらに、町のシンボルとなる施設とすべく、地域にある木造町屋の意匠を取り入れたデザインとし、青葉山（通称：若狭富士）の景観を阻害しないよう建物高さを抑えました。その他にも様々な条件があり、それらすべてを満たすことは、苦しくもやりがいのある仕事でした。

最後に、この事業を公約として推進されました野瀬豊町長が去る7月17日に任期途中でご逝去されました。故人は、高浜町民が新しい庁舎公民館を利用し活動することで、まちづくりが進むことを実感しておられました。今後もまちづくりに寄与する庁舎公民館であり続けるよう努めていきたいと思いをします。

■エピソード（設計者より）

まちづくりを先導する施設として、高浜町らしさを象徴する佇まいを目指しました。町家の意匠を全面的に取り入れていますが、住宅よりも大きな建物なので、柱スパン・木部材の寸法・屋根面積など、一つひとつが実際の町家よりも大きなスケールでつくられています。このスケールでつくられた木架構の空間に、海辺のまちらしい風や光を導くことで、訪れる方々を広く受け入れ、心地よさや安心感を得られる場所が実現できたと思っています。今後もまちの拠点として、地域に根差し愛される建築となることを願っています。